

令和4年第4回女川町教育委員会会議録

- | | | |
|----|-------------|---|
| 1 | 招集月日 | 令和4年4月28日(木) |
| 2 | 招集場所 | 女川町役場3階 小会議室 |
| 3 | 出席委員等 | 1番 横井一彦 委員
2番 新福悦郎 委員
3番 中村たみ子 委員
4番 山内哲哉 委員
平塚 隆 教育長 |
| 4 | 欠席委員 | なし |
| 5 | 説明のため出席したもの | 教育局 局長 阿部 恵
教育局 次長 千葉一志
教育局 次長 千葉英貴
教育局 次長兼指導主事 田中浩司
教育局 次長 中嶋憲治
教育局 教育指導員 坂本忠厚 |
| 6 | 本委員会の書記 | 次長 千葉一志 |
| 7 | 開 会 | 午前9時56分 |
| | 教育長 | それでは、令和4年第4回女川町教育委員会を開会します。 |
| 8 | 会期の決定 | |
| | 教育長 | 会期は、本日1日限りといたします。 |
| 9 | 前回会議録の承認 | |
| | 教育長 | はじめに、前回の会議録の承認の件をお諮りいたします。
すでに配布されておりますが、委員の皆様方何かお気づきの点
はありませんでしょうか。
無いようですので、承認とさせていただきます。 |
| 10 | 会議録署名委員の指名 | |
| | 教育長 | 2番 新福悦郎 委員
3番 中村たみ子 委員 よろしくお願いたします。 |
| 11 | 報告事項 | |
| | 教育長 | 次に、5番「報告事項」に入らせていただきます。
はじめに、私からご報告いたします。
レジュメをご覧いただければと思います。
改めまして、委員の皆様方には4月からお世話になっておりま
す平塚隆と申します。右も左も本当に分からないまま今に至る
のですが、どうぞご指導のほどよろしくお願い申し上げます。 |

ここからは着座にてお話をさせていただければと思います。
それでは私から、22日に行った第1回校長・教頭会議でお話を
させていただいたことを踏まえまして、レジュメに沿って教育
長報告をさせていただきたいと思います。

4月8日（金）、待ちに待った女川の子供たちが登校してまいり
ました。風の強い日ではありましたが、春の日差しを受けまし
て、みんなキラキラと輝いて見えました。通勤途中、横断歩道を
渡り終えた子供たちから何度も頭を下げられ、よし、今日も頑
張ろうという気持ちにさせられました。

始業式では、小学校で新型コロナウイルス感染症等による出席
停止の子供が何人かいたものの、ほとんどの子供たちは元気に
登校し、無事終了したとの報告が教頭先生からありました。
令和4年度も、おかげさまで、いいスタートを切ることができま
した。

同じ日、午後からは女川中学校の入学式がありました。
ピリッとした緊張感が漂う会場。「自分は今日から中学生なのだ」
という気概が感じられた入学式でした。制服が少し大きいなど
感じられる男子生徒もいましたが、3年後には背丈も伸び、ズ
ボンの裾がつんつるてんになるのではないかなと、そう思える
生徒も多分増えるんだよなんて思って見ていました。

歓迎の言葉を述べた岡本健吾君、誓いの言葉、阿部ひなたさん、
二人とも大変立派でした。特に、歓迎の言葉を述べた岡本君の
「中学校生活は大変なことばかりですが…」という言い回しに、
施設一体型小中一貫教育学校、同じ校舎で一緒に生活してきた
からこそ言える言葉なのだろうなと感じました。

11日（月）は、女川小学校の入学式でした。
もともと私は中学校でしか働いたことがなくて、本当に久しぶ
りに小学校の入学式に参加させていただきました。新型コロナ
ウイルス感染症が拡大する前は、それぞれ中学校学区で小学校
にお邪魔したり、中学校においでいただいたりしたこともあつ
たのですが、より新鮮に感じました。

来賓の席にいらした二人の所長先生の児童たちを見守る姿がと
ても印象的でした。

お迎いの言葉を述べた、第6学年の今野翔棋君の発表も立派で
した。震災当時、佐藤議長さんのお近くに住んでいたというこ
ともあって、当時の話を議長さんからはいろいろ聞かせてもら
いました。

改めて、4人の委員の皆様には、お忙しい中、小学校、中学校の

入学式においでいただきまして、ありがとうございました。心から御礼を申し上げます。

4月19日（火）、全国学力・学習状況調査の日でした。

さまざまなお意見もあるのですが、私は、校長先生と二人の教頭先生には、今年も、ただ試験を受けさせるのではなくて、学校としてできる限りの準備、そして努力をして臨むようお願いしました。

教育委員会としましても、田中浩司指導主事と坂本忠厚教育指導員、さらに女川向学館の先生方が何度も第6学年の教室に足を運んでいただいて、受験の心構えや、過去問に挑戦している児童への支援を行うなど、学校と一体となって子供たちを応援しました。

新型コロナウイルス感染症の影響もあって、小学校で1名、中学校で3名が欠席のため受験できませんでしたが、小学校第6学年が27名、中学校第3学年が32名受験しました。

夏休み明けの結果報告を楽しみに待ちたいと思っているところでもあります。

新型コロナウイルス感染症関連につきましては、皆様ご存じのように、残念ながら、本県の状況と同じように、当町におきましても断続的に感染者が確認されています。

女川小・中学校においても、年度当初から一人二人と感染者が出ています。家庭内感染がほとんどで、中には一人の感染から時間差で小学生から中学生へと感染が広まって、兄弟のほとんどが感染したというケースもありました。

学校で感染者が確認されましても、以前のように、保健所が主体となって、感染経路を追いかけて、濃厚接触者あるいは接触者を特定して、PCR検査等を実施するということはほとんどなくなりました。

学校生活の中では、消毒や換気等の基本的な対策を実施していることに加えまして、常にマスクを着用し、さらに友達との距離もきちんと取っているという判断から、「濃厚接触者、なし」となるのが普通であって、別の子供が発熱等の症状が出て初めて次の検査という流れになります。

登米市では、保護者の中に、もうマスクが必要ないのではないかとそのようなことをおっしゃる保護者がいるようですが、中学校は、6月の中総体に向けて、これから春季大会等、まさしく今、各種大会が実施されています。東部地区（石巻市、東松島市、女川町、登米市）の教育委員会それから中学校長会で、大会

への参加、あるいは練習試合等については、東部地区内のみと
いうことで認めていて、感染対策を行いながら実施ということ
になります。

新聞報道等で委員さん方もご存じとは思いますが、先日の野
球大会、石巻かほく杯で、我が女川中学校が飯野川中学校と合
同チームを組んで、第3位に入賞しました。

また、4月26日付けの「石巻かほく」に、先程の歓迎の言葉を
述べた岡本君が敢闘賞に選ばれて、見事な談話が掲載されてい
ました。

私、4月26日に学校へ行ったのですが、ちょうど廊下ですれ違
ったものですから、少し話を聞いて、握手をして、本人をたたえ
て帰ってきました。

第3学年は3人しかいない野球部です。ぜひ中総体では有終の
美を飾ってほしいと思っていますところでもあります。

続きまして、会議、研修関係について申し上げます。

4月22日（金）に第1回目の校長・教頭会議を実施しました。
私からは、本年度の重点として、「施設一体型小中一貫教育学校
の特徴を生かす学校経営や運営」、そして「教員の教科指導力の
向上」の2点について話をしてきました。

会議の前には、本年度も、耕人塾の塾長である木村民男先生か
ら、活動方針についてのお話を賜りました。

また、4月26日（火）には、第1回の講師等研修会を実施しま
して、田中指導主事、坂本教育指導員とともに、教員採用試験
を受験するにあたっての心構え等を話してもらいました。

一次試験の結果を見て、例年どおり、面接や集団討議の練習等、
二次試験の対策を行っていきたいと思っています。

教育委員会、関連団体関係につきましては、皆さんもご存じか
と思うのですが、教育委員会組織の改正について、これは3月
の教育委員会でも説明があったと思います。4月1日から、こ
れまでの教育総務課と生涯学習課の2課体制を統合して、教育
局として一局体制でスタートしました。また、係についても、総
務、学務、生涯学習、体育振興、町誌編さん室の5つの係となり
ました。

女川向学館との連携につきましては、本年度も、授業をはじめ、
放課後、長期休業中の学習支援をはじめ、教育委員会等と連携
しながら、さまざまな形で学校に入っただくことになりま
す。4月14日（木）に、第1回女川小中向連絡協議会を開催し
まして、今年度の活動方針等についての確認をしました。

また、おながわ放課後「楽校」につきましても、本年度も女川町放課後の子供居場所づくり事業として実施してまいります。同じく第1回女川町小中向連絡協議会で、今年度の活動方針等について確認をいたしました。

先週の22日（金）には、県教育庁教職員課の課長が新しく赴任したということで、県内のへき地校を中心に、我が女川小・中学校の施設を見学にいらっしゃいました。

4の女川小学校、女川中学校の主な行事予定を含め、学校から上がったものについて、詳しいことにつきましては後ほどの協議会の中でお話をさせていただきますので、ご了解を賜ればと思います。

結びにということで、挨拶回りをして思うことと書かせていただきましたが、どこに行っても、誰と話をさせていただいても、この女川小・中学校に対する期待はすごいなということも4月1日からずっと感じています。まさしく「おらほの学校」への思いの強さとか、誇りや愛着が伝わってまいります。正直な話、昭和の時代に少しタイムスリップしたような懐かしさも感じています。

校長・教頭会議では、だからこそ先生方と、女川の子供たちを全身全霊かけてめんこがってまいりましょうねという話をさせていただきます。

昔、「信無くば立たず」と言って国会議員を辞した衆議院議員がいらっしゃったような気がするのですが、「学校力」、学校としての力と申しますか、教員の組織力、そして教科指導力、生徒指導力を高める取組を継続しながら、信頼される学校づくりを目指して、子供たちのために尽力願えればという話を先生方にもしてまいりました。

私からは、以上で報告という形になります。よろしく願いいたします。

続いて、教育局長から報告をさせます。

教育局長 今年度から教育局となりましたので、学校教育関連、生涯学習関連、体育振興関連を私からご報告させていただきます。

資料は、「学校教育関連 報告・連絡事項」とありますものからご報告申し上げます。

まず、1番、日程関係でございます。

実施済みといたしましては、ご覧いただいているとおりでございます。

(2)番の離任式、(4)番、着任式、(5)番、入学式には、委員

の皆様方に足をお運びいただきまして、大変ありがとうございました。

それから、(8)番、小・中下校時避難訓練が4月22日(金)にございました。こちらは昨年度同様に、女川町の防災無線を使って子供たちに避難を促したり誘導したりということをしていただいております。

それから、実施予定につきまして、(1)番、学校視察でございます。5月10日(火)午後4時40分から。時間は短いのですが、財務省から、学校の視察をするということで5名いらっしゃるということでございます。

(2)番、東部教育事務所所長訪問が5月11日(水)にございます。午後2時から町の教育委員会にて、午後2時30分から女川小・中学校にて行われます。

(3)番、小・中学校指導主事学校訪問が5月16日(月)にございます。午前10時50分から始まります。

(4)番、女川の教育を考える会、今年度1回目でございます。5月25日(水)午後2時30分から予定されております。

(5)番、復興加配の配置校の学校視察ということで、5月27日(金)に、文部科学省から2名、県義務教育課から5名が視察にいらっしゃるということでございます。

(6)番でございますが、町教育委員会主催の初任者研修を記載しております。こちらは、このあと日程の変更がございまして、調整をまた改めてということになりました。

研修の対象者は、小学校2名、中学校2名でございます。

大項目2番です。

女川町行政組織機構図について、2枚目に別紙を添付しております。こちらは、以前からお示ししているものと変更はございません。4月1日現在ということで、改めて添付させていただいているものでございます。

2ページ目をお開き願います。

大項目3番です。危険箇所に係る安全指導の徹底について。

4月5日(火)、栗原市において、釣りをしていた小学生がため池に転落し亡くなるという事故が発生いたしました。県教育庁関係課から発出されました通知を確認のうえ、事故の未然防止のための安全指導を徹底されるよう、小・中学校に対し依頼しております。

大項目4番、その他といたしまして、学校支援でございますが、宮城県建設業協会石巻支部青年会様より、毎年でございますが、

「防犯標語入りクリアファイル」200枚をいただいたところでございます。

それから、一般事項といたしまして、(1)県警提供の不審者情報について、①から③まで記載いたしました。

学校に対し注意喚起を行ったのですが、また新たな不審者情報といたしまして、4月26日(火)午後6時頃、石巻市大瓜地内の路上で、自転車で帰宅途中の男子中学生に男がカッターの刃を向けるという事案が発生したところでございます。

学校に重ねて注意喚起をお願いしたいと思っております。

(2)番でございます。令和4年度おにぎり大使派遣事業の中止について。

今年度7月から8月にかけて予定しておりましたおにぎり大使派遣事業ですが、新型コロナウイルス感染症の状況、本国及び研修先のオーストラリアの水際対策等の状況を踏まえまして、今年度も中止とするということで石巻地区広域行政事務組合様より報告がございました。

(3)番、令和3年度女川町基礎学力充実支援事業の実施状況についてご報告いたします。

こちらは、漢字検定、英語検定、算数(数学)検定の検定料の3分の2の額を補助するという事業ですが、漢字検定につきましては、小・中学校合計で13件、英語検定が合計で17件、算数(数学)検定が34件、合計で64件、補助額といたしまして、127,900円の実績でございました。

こちらの人数は、検定料の助成の支給の延べ人数でございます。続きまして、1枚とんていただきますと、カラー刷りの生涯学習係からの資料ということで準備させていただいております。

まず、1番です。生涯学習関係のさまざまな事業を行うにあたって、新型コロナウイルス感染拡大防止対策についてです。

県では5月15日まで再拡大防止期間を延長しているということを受けまして、女川町では現行の感染対策の内容を継続し、ゴールデンウィーク中のイベント等による人流活性化で見込まれる感染リスクの低減を図っていきたいと考えております。各業種別ガイドラインの遵守、それから、基本的な感染予防対策を徹底してまいります。

2番です。生涯学習事業について。

(1)今年度の「女川町協働教育プラットフォーム事業」につきまして、こちらに本町「教育大綱」の体系を載せております。

四角く黒で囲んでおります中の5番になります。学校、家庭、地

域、行政が連携・協働して子供たちを育てる環境づくりのために、その下の枠組みのところでございますが、こちらに取り組んでおります。前年度事業を基本的には継続展開してまいります予定でおります。

次のページをお願いいたします。

(2)番、生涯学習係重点取組事項について申し上げます。

①番のライフステージにおける豊かな人間性の推進といたしまして、おながわ放課後「楽校」事業の習慣化に取り組めます。火曜日から金曜日は毎日、月曜日は特別講座を開く予定としております。女川向学館のご支援をいただきながら進めてまいりたいと思っております。

②番、生涯学習ボランティア指導者の積極的な育成とその活用。

③番、学習環境の整備と活用。

④番、家庭教育の支援体制の充実。こちらは親子アドベンチャークラブなどのイベントについて、今後、チラシの配布を予定しており、周知してまいります。

⑤番、青少年教育の充実といたしまして、ジュニア・リーダーの活動の充実を図ります。初級研修として、塩谷町との交流を予定しておりますが、令和4年度については、女川町から塩谷町に行つての交流を予定しております。

⑥番、歴史と伝統文化の継承と芸術文化の充実です。潮活動で女川町の歴史や伝統文化を継承する活動を推進してまいります。

⑦番です。コミュニティ活動の推進。すべての講座においてコミュニティの構築を目指し、輪を広げていきたいと考えております。

大項目3番です。生涯学習事業の一覧を載せてございます。こちらは、後ほどご覧になっていただければと思います。

1枚めくっていただきまして、大項目4番です。

実施しました事業についてご報告いたします。

今年度実施分ですが、ジュニア・リーダー派遣事業といたしまして、その写真を添付させていただいております。旭が丘子ども会より依頼がありまして、ジュニア・リーダー7名の活動の様子を載せております。

(2)は、昨年度の実施事業としまして、①学校支援の潮活動の様子、②放課後子供教室の様子、次のページに「まなびっこ」、「おかあさん学級」の様子などを載せております。

最後に、次月の予定を載せております。生涯学習係、体育振興係ということで記載させていただいております。

続きまして、その次のページでございます。

体育振興系の報告でございます。

体育振興事業につきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、先程の生涯学習と同様でございます。

(2)番、4月・5月の事業につきまして、実施済みといたしまして、4月23日(土)に都市対抗野球の第1次予選宮城県大会がございました。会場は、女川町の野球場が予選会場の一つとなりまして、試合が行われたところでございます。

実施予定でございます。

アイリスオーヤマプレミアリーグU-11 東北大会 2022、サッカーの試合でございます。

5月4日(水)から5日(木)の2日間にわたりまして、第一多目的運動場と第二多目的運動場を会場に、東北6県16チームが参加して、全部で32試合行われる予定でございます。

③番、令和4年度みんなのスポーツフェスティバルを行います。町の主催事業でございます。5月5日(木)午前10時から午後3時までの間で、場所は女川スタジアムでございます。サッカーのほかに、ニュースポーツ、それから管理棟の見学などもできます。町内外を問わず、来場無料といたします。

④番です。女川ライオンズクラブ旗争奪中学校選抜女子ソフトボール大会が5月7日(土)に予定されております。

女川中学校には残念ながらソフトボール部はないのですが、5チームが参加して、リンク戦にて試合が行われるということでございます。

⑤番です。スナッグゴルフ体験会 in 女川町。5月8日(日)午後2時から4時までの間で、女川スタジアムを会場に行われます。

主催は日本ゴルフツアー機構なのですが、プロゴルファーが女川町に来て子供たちと交流するというイベントでございます。

また、スナッグゴルフセットを女川小学校と放課後「楽校」用に1台ずつ寄贈いただくこととなっております。この場で贈呈式が行われる予定でございます。

最後、(3)番です。所管の施設整備状況についてご報告いたします。

女川町総合体育館の改修工事につきましては、令和4年3月末現在の進捗率83%、工期は5月末となっております。6月1日から供用を再開いたします。

次の女川スタジアム周辺整備工事につきましては、進捗率5%、

工期は、10月31日でございます。

同じく女川スタジアムの屋外倉庫建築工事、進捗率46%、工期は、7月29日です。

最後は、女川スタジアム屋外南トイレ等建築工事です。進捗率8%、工期は、8月31日でございます。

以上、体育振興に係るご報告でございました。

以上でございます。

教育長 報告は以上ですが、委員の皆さん、ただ今の報告事項について何かご質問、ご意見はありませんか。

中村委員 学校教育関連について今ご報告いただいたのですが、小・中下校時の避難訓練が実施されたということで、その訓練実施を受けて、何か確認された課題等があればお話いただきたいということです。

あともう1点なのですが、危険箇所に係る安全指導の依頼を小・中学校になさったということですが、町内で危険箇所として共通認識をされている場所というものはあるのですか。

その2点をお話しただけだと思います。

教育局長 まず、下校時避難訓練のところでございますが、学校から直接結果の報告等はいただいているのですが、お聞きした限りでは、中学生が参加しないでそのまま下校した様子ですとか、そういった子もいたということは聞いておりました。

これから訓練の内容を検証されて、改善すべき点等あると思うので、その辺の報告は頂戴して、また、こちらでも協力できることはさせていただきたいと考えております。

危険箇所のところですが、ここではため池へ転落があったということだったのですが、町内でため池というのはいないです。確認はされておられません。

危険箇所の共通認識というところでは、毎年通学路の点検を行っております、その都度、先生方も歩いて点検をしたり、私たちがあがってきたところと一緒に歩いて確認をしたりということはしております。場合によっては、県にその改善を要請するというしております。

今後も、その辺の安全確認というところでは、事故の未然防止という観点で努めていきたいと思っております。

中村委員 だんだん避難訓練に関しても、危機意識というのは薄れてきている状況も今あるので、できれば、そういう意識も今後継続して高めていけるような働きかけが必要かなと思います。

あと、危険箇所に関しても、ため池のあのことがありましたが、

やはり行政区とも連携して、通学路でなくても、その地域での危険箇所というものも確認しておく必要があるし、それに対するの指導も具体的に子供たちにしていく必要があるのかなと思っています。

以上です。

横井委員 今のことに関連して、よろしいですか。避難訓練のときに指定の場所に移動していたというふうに思っているのですが、その場所はどこだったのでしょうか。

教育長 今回は下校時の避難訓練という形なんですよ。そのあたり、聞いていた部分で説明をお願いします。

田中指導主事 私からご説明申し上げます。

下校時避難訓練ということで、主に徒歩で下校している子供たちが、防災無線を聞いて、下校途中のその場で避難行動をとるという訓練でした。

そのあと、小・中学生に関しましては、避難をしたあとにどこに避難をするかというところも、次の第二次避難の場所も学校で把握をしていたようです。

ただ、その中で、学校に戻る子供たちもいれば、地区の集会所に行く子、自宅に戻る子と、それぞれ学校では次の避難行動を把握していたようなのですが、低学年の子で迷っている子などもいたようです。そのあたりは、年度初めなので、これからの防災教育を通して、さらに身に付けさせていくというところで確認しているようでした。

横井委員 分かりました。どこか指定された場所に向かって一旦行くのかなと思っていたものですから、だからその場所はどこを指しているのかなと。

山内委員 あれは多分、年度初めに、学校側か教育委員会の方からなのか、何か所か選択肢があったのか、それぞれの家庭で決めたかで、うちの家庭は下校時に何かあった場合、ここに一旦避難しますというのを決めるんです。それぞれの家庭というのか、それぞれの子供たちがその家で決めたことに対して行動するというように決まっていたと思います。

それで、あくまでもそれがマニュアル化してもあれなので、一応臨機応変に考えるという呼びかけもあって、自分が今いる場所で、本来勤労青少年センターに避難するという届け出を学校にしている子でも、そこではなくて、セブンイレブンの横の公園の方がこの状況だと多分安全だと思う子は、そちらに行きなさいという指導も学校からあったというふうには聞いていました。

横井委員 だから、何か所か、もしそういう指定のところがあるのであれば、共有していないと、と思ったのです。なぜかという、今おっしゃるように、どこでどういう形になるか分からないので。ただ、一番震災のときに思ったのは、自分の子供が今この時間だったらどこにいるか、どこに向かっているかとか、あそこに行けばいるという情報を把握していないと、周りをうろうろ探して歩くという状況になってしまうので、それがかえっていろいろな二次災害を生むもとになるので、基本的に安全と思われる場所に一旦みんながそこに行ってから、解散としたのかなと思っていたのです。

だから、もしそういう場所があるのであれば、もう少しほかの地域の人も含めて認識している必要があるのかなと。そうすれば、小さい子が向かっていけば、自分も逃げながら補助もできるのですが、みんながバラバラで動いてしまうと、誰がどこに行っているのかが分からない。

あの緊急時のときを振り返ると、みんな自分と自分の家族だけに集中してしまうので、そういう余裕がなくなっている状況だと、結構、地域の力とか地域の人たちの力を借りながらという文言がこういう中にもよく出てくるのですが、どこに向かっているのか分からないとか、地域の子供がどこに集まれと言われているのか分からないという状況は、望ましくないのではないかなと。

ある程度の目安になるものがみんなある程度分かっていたら、先程、一番最初の挨拶でもありましたが、学校とか子供たちに対しては小さな町なので関心が高いので、じゃあどうしているんだろうというのが絶えず頭の中にあるので、ああいう放送が流れれば、どこに行っているんだろうねというのがちらちらと聞こえてくるので、そういえば私も聞いていなかったと思えば、そういうところは、一旦どこに向かっているかぐらいは、ああいう訓練をするとき、それぞれで何となく終わりましたというよりは、もう少しはっきりした形でやっていた方が、だったらあそこに集まっているのかなとか、そういうことが分かる。あるいは補助をする、あるいは見守るといった地域の人たちの行動を少し期待できるのかなと思います。

以上です。

教育長 非常に貴重なご意見いただきました。そのあたり私の方でも学校と確認して、こういうご意見があったということの確認と、あと周知ですね。せっかく地域を挙げてという部分の機運があ

るので、せっかくですから、皆さんにもご協力をいただくという視点においても、今の委員の皆さんのご意見を参考にさせていただいて、これからさらに、また避難訓練もいろいろあると思いますので、話をしていきたいと思っていました。

どうもありがとうございました。

ほかにございませんでしょうか。

新福委員

「報告・連絡事項」の中の実施予定の(6)のところに、町教委主催の初任者研修が予定されているのですが、小学校2名、中学校2名ということで、これは県教委が指定、重点地区として初任者研修を女川のこの地区に依頼したのか、そのあたりどうなんですか。

田中指導主事

初任者研修は、東部教育事務所で主催しております初任者研修に加えまして、市町の教育委員会でも初任者研修を実施するというので、例年行っているものでございます。

昨年度は2名の初任者がおりまして、まず年度初めに、講話として来る人から、教員としての心構えですとか、女川町の教員としてどうあるべきかという講話をいただきました。

それ以外に、町外から赴任している先生方もいらっしゃいますので、原子力発電所を有する自治体として、町内の女川原子力発電所等を視察するという、その二つの研修を昨年実施しました。

今年度も同様に考えているところでございます。

新福委員

今年度の人事異動を見て、講師の先生がそのまま、何年が勤めていたのが、正式採用されて女川小学校に教諭として着任するとか、中学校もそういう感じでしたよね。それを見て、私はすごくいいなと思ったのです。

それは、子供たちからすると、そういうふうになじみのある先生がそのまままた続けて教員をやってもらった方が、いろいろな意味で、人間関係も含めて非常に有益ではないかなというふうに思います。

そういうふうに女川町、あるいは女川の地区、女川の学校がそういう先生を育てていくという意味で、こういう採用の仕方みたいなものが今後も続けていけばいいかなというふうに思ったのです。

以上です。

教育長

分かりました。ありがとうございます。

基本的に教員の配置の部分につきましては、なかなか難しい部分があって、今後、今までの流れも考えながら考えていければ

いいなど。

3年講師でいて、さらに初任だと大体3年で出れるわけですよ。そうなってくると、6年そこの学校にいます。果たしてそれが、とてもいいことなのか、悪いことなのかという部分の議論なども、ずいぶん実は石巻でもしてきているんですね。

実は講師の先生がそのまま残るというパターンというのは、ここ10年くらいですか、始まってきた。前はそういうことはあまりなかったのです。大体講師の先生は合格したら他地区に行くというのが基本だったのですが、ここ10年だと思いますね。少しずつ増えてきて、今の状況にあるというところかだと思います。委員の貴重なご意見を参考にさせていただいて、これからまたみんなで話し合っていきます。ありがとうございました。

ほかにございませんでしょうか。

(発言なし)

教育長 なければ、報告事項についてはよろしいですか。

(「はい」の声あり)

12 その他

教育長 次に、6番「その他」に入ります。

その他何かございせんか。

横井委員 一つ確認したいことがあるのですが、スクールバスで通学する子供たち、石浜地区は今どのような扱いになっているのでしょうか。当初は、石浜地区を最初は外そうかという話があったようですが、石浜地区も入ると私は思っていたのですが、今は違うのですか。

教育局長 石浜地区の子供たちも北浦方面からのバスに乗って学校に来ております。

横井委員 そうですよ。一部この間石浜地区の子供が乗れていないというように聞いたものですから、聞いていたのと話が違うなと思ったものですから、確認しました。分かりました。

教育長 ほかにその他でございせんか。

なければ、「その他」については、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 それでは、来月の日程を組ませていただきたいと思います。

[5月31日(火)午前10時からということで調整]

教育長 31日火曜日ということで組ませていただきます。

ほかにございせんか。

なければ、第4回女川町教育委員会をこれで終了させていただきます。

13 閉 会 | 午前 10 時 38 分

14 この会議録の作成者は、次のとおりであります。

次長 千葉 一志

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

令和 4 年 5 月 31 日

会議録署名委員

2 番委員

3 番委員